

平成30年度 12月補正予算総括表

(単位:千円)

会計区分		現計予算額	12月補正額	補正後予算額	
一般会計		85,235,609	3,945,066	89,180,675	
12月補正予算(一般会計)説明資料のとおり					
特別会計	食肉センター	101,169		101,169	
	国民健康保険(事業勘定)	20,363,784		20,363,784	
	国民健康保険(診療施設勘定)	38,762		38,762	
	後期高齢者医療	2,161,611		2,161,611	
	公設地方卸売市場事業	28,037		28,037	
	整備墓地	32,552		32,552	
	工業用地造成事業	707,230	25,846	733,076	
	都城インター工業団地造成事業(桜木地区)を補正				
	介護保険	18,908,278		18,908,278	
	御池簡易水道事業	139,895		139,895	
	簡易水道事業	1,157,834		1,157,834	
	電気事業	61,907		61,907	
	小計	43,701,059	25,846	43,726,905	
	企業会計	水道事業	4,642,930	2,671	4,645,601
総係費等を補正					
公共下水道事業		4,935,955	20,000	4,955,955	
単独建設事業費を補正					
農業集落排水事業		916,904	0	916,904	
過年度損益修正損を組替補正					
小計	10,495,789	22,671	10,518,460		
合計		139,432,457	3,993,583	143,426,040	

平成30年度 12月補正予算(一般会計)説明資料

(単位:千円)

款	事業名	補正額	説明	
10 総務費	ふるさと応援基金	3,241,462	ふるさと応援基金への積立に要する経費	(ふるさと産業推進局)
	国・県補助金等返還金	209,584	国・県補助金等返還金に要する経費 ・「子どものための教育・保育給付費負担金」の国・県への返還金	(保育課)
	祝吉ホテルの里活性化事業 (祝吉地区地域活性化事業)	354	祝吉ホテルの里活性化事業に要する経費 ・ホテルの保護、育成を呼びかける看板整備等に要する補助金	【資料1】 (財政課)
15 民生費	老人保護措置費	2,428	老人保護措置に要する経費 ・養護老人ホームの施設修繕料の増	(福祉課)
	子育て短期支援事業	1,150	子育て短期支援事業に要する経費 ・利用者の増加に伴う委託料の増	(保育課)
20 衛生費	斎場管理費	5,902	斎場の管理運営に要する経費 ・燃料費の増	(環境政策課)
30 農林水産業費	農業水路等長寿命化・防災減災事業	9,253	農業水路等長寿命化・防災減災事業に要する経費 ・木之川内ダムの施設更新に要する委託料等	(農産園芸課)
	産地パワーアップ事業(特産振興)	2,866	産地パワーアップ事業に要する経費 ・茶製造等機械導入に対する補助金	(農産園芸課)
35 商工費	工業用地造成事業特別会計繰出金	46	工業用地造成事業特別会計繰出金 ・都城インター工業団地造成事業(桜木地区)に要する繰出金	(企業立地推進室)
40 土木費	公園維持管理費	23,631	都市公園の維持管理に要する経費 ・関之尾公園プール塗装等に要する経費の増	【資料2】 (道路公園課)
	甲斐元通線(歌舞伎橋)整備事業	17,273	甲斐元通線(歌舞伎橋)整備事業に要する経費 ・国庫支出金の追加内示による工事請負費の増	(道路公園課)
	狭隘道路拡幅整備事業	4,600	狭隘道路拡幅整備事業に要する経費 ・道路後退用地の分筆登記に要する委託料の増	(建築課)
45 消防費	常備消防事務費	1,000	常備消防事務に要する経費 ・寄附採納に伴う救急用資材の購入	(警防救急課)
50 教育費	教育総務管理費(小学校)	10,512	小学校の管理運営に要する経費 ・施設修繕料及び電気料の不足に伴う増	(教育総務課)
	さくらマラソンおもてなし事業 (高城地区地域活性化事業)	257	さくらマラソンおもてなし事業に要する経費 ・さくらマラソン参加者への「おもてなし」に要する補助金	【資料3】 (高城地域振興課)
55 災害復旧費	現年発生公共土木施設補助災害復旧事業	291,000	現年発生公共土木施設補助災害復旧事業に要する経費 ・台風24号により被災した道路等の災害復旧費	(維持管理課)
	現年発生農地農業用施設災害復旧事業	45,478	現年発生農地農業用施設災害復旧事業に要する経費 ・台風24号により被災した農地等の災害復旧費	(農村整備課)
その他		78,270	社会保障・税番号制度システム管理事業 市民税還付金 街路樹管理事業 体育施設維持管理費 その他	6,807千円 5,587千円 3,637千円 2,438千円 59,801千円
合計		3,945,066		

平成30年度 12月補正予算説明資料

市民生活部 コミュニティ文化課

○祝吉ホタルの里活性化事業(祝吉地区地域活性化事業)

1 事業目的

祝吉地区では、ホタルの生息地として知られる祝吉ホタルの里において、水生生物、植物の保護、研究、水路法面等の環境整備を行ってきました。しかし、近年ではホタルの保護・育成を呼びかける看板等が老朽化するとともに立木等の成長に伴い周辺環境の整備が必要となっています。そのため、新たな看板を設置するとともに、維持管理に必要なチェーンソーを整備するものです。

2 事業概要

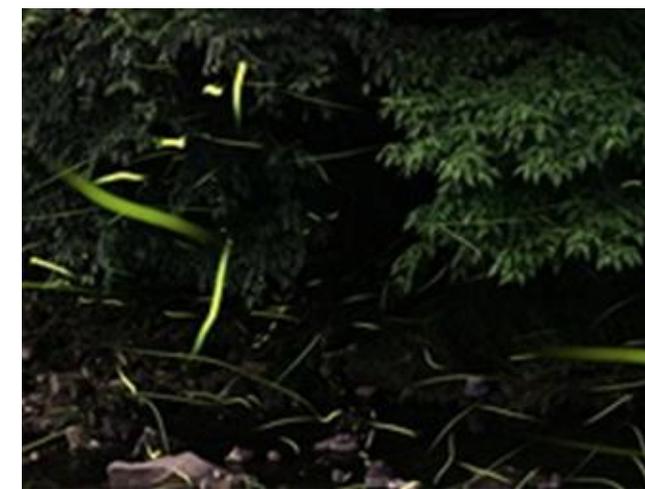
ホタルの保護・育成を行うために必要な環境整備等を行う祝吉ほたるの里保存会に対し、補助金を交付する。

○看板設置(12箇所)

○チェーンソー購入 1台

3 予算額

354千円



平成30年度 12月補正予算説明資料

○公園維持管理費

1 事業目的

関之尾公園のプールは、昭和55年に開設以降、市内外からの利用者の皆様に、夏のレジャー施設として利用していただいている施設です。

しかし、近年は、老朽化に伴い、塗装の剥がれやすさ減りが目立ち、亀裂も発生している状況です。

このため、利用者の皆様に安全にプールを利用していただくよう、プールの改修を行うものです。

2 事業概要

亀裂の補修とプール内及びプールサイドの
全面塗装を行います。

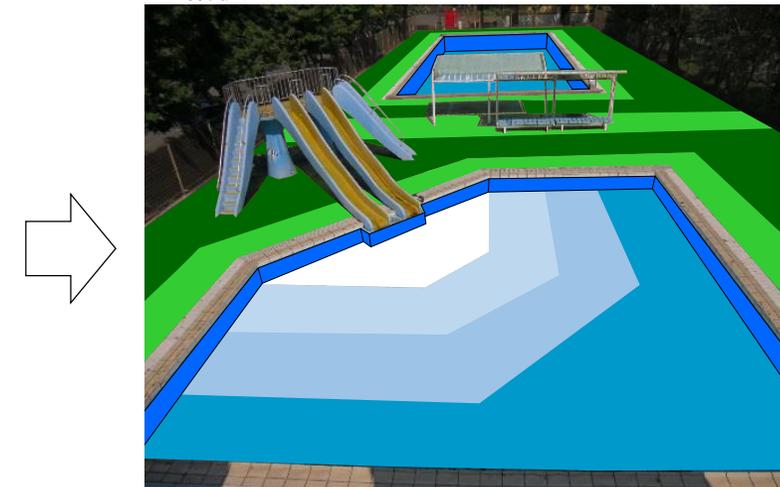
3 予算額

10,612千円

現況



整備後のイメージ



【資料2】

平成30年度 12月補正予算説明資料

高城総合支所 地域振興課

○都城さくらマラソンおもてなし事業(高城地区地域活性化事業)

1 事業目的

平成20年度より「都城さくらマラソン」を実施し、今回11回目を迎える。年々参加者数は減少傾向であり、「おもてなし」を強化し、多くの参加者を迎えることで、高城地区の地域活性化、賑わい創出を推進する。

【マラソン参加者数】 H27:2,034人 H28:1,834人 H29:1,574人

2 事業概要

参加者への「おもてなし」を強化するために、給水所ではくだもの、ゴール地点ではぜんざいの振る舞いを実施する都城市食生活改善推進員連絡協議会 高城地区に対して補助を行う。

3 予算額

257千円

平成30年度大会

【開催日】

平成31年3月24日(日)

【競技種目】

ハーフ

10Km

5Km

3Km



メダリスト松田丈志さんが、子どもたちに思いを伝える！



さまざまな競技の現役スポーツ選手やOBなどを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢や目標を持つことの素晴らしさ」「それに向かって努力することの大切さ」などを子どもたちに伝える「JFA（公益財団法人日本サッカー協会）こころのプロジェクト」。

今回、市内では石山小学校が同プロジェクトの採択を受け、本県出身のオリンピックメダリスト（北京銅、ロンドン銀・銅、リオデジャネイロ銅）の松田丈志さんを夢先生に迎え、子どもたちに思いを伝えてもらいます。

●当市での平成 30 年度夢教室

開催校：市立石山小学校（荒木秀一校長・全児童数 88 人）

日時：12 月 3 日（月）10 時 40 分～

授業の内容等：

3 校時と 4 校時は 5 年生（13 人）を、5 校時と 6 校時は 6 年生（15 人）を対象に授業を行います。それぞれ体育館での 30 分程度ゲームで体を動かした後、教室で 60 分程度トークを行います。まとめに、「夢シート」に子ども達の思いや夢先生へのメッセージを書き、後日、夢先生からのフィードバックをもらいます。

【松田 丈志さんのプロフィール】

延岡市出身。高校時代に日本代表としてアジア競技大会に出場し、200m バタフライで銅メダルを獲得。中京大学へ進学後の 2004 年にはアテネオリンピックに、2005 年には世界水泳選手権に出場するなど、大学在学中から世界の第一線で活躍しました。

オリンピックはアテネ、北京、ロンドン、リオデジャネイロの 4 大会に出場。ロンドン大会の 400m メドレーリレーで日本男子史上初となる銀メダルを獲得したほか、リオデジャネイロ大会では日本男子 52 年ぶりとなる 800m フリーリレーで銅メダルを獲得しました。北京大会とロンドン大会では、200m バタフライで銅メダルを獲得しました。2016 年 9 月に行われた国民体育大会を最後に現役引退。

●市内で開催実績

本年度 3 カ年目。平成 28 年度は川東小（片岡安祐美：茨城ゴールデンゴールズ監督）、H29 年度は南小（平瀬真由美：プロゴルファー）を招聘しました。

※画像は平成 28 年度の様子



【問い合わせ】 学校教育課 電話：23-9544

世界の技を体感！ 「モンゴル・日本レスリング交流会」

当市は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、モンゴル国のホストタウンに承認されています。

そこで、ホストタウン推進事業の一環として、モンゴル国との国際交流の輪を広げるとともに、オリンピック・パラリンピックに向けた機運を全市的に高めるために、モンゴル・日本レスリング交流会を 2 月 1 日から 3 日まで実施。併せて、2 月 3 日（日）は、パラスポーツ（ボッチャ）の参加費無料の体験会を行います。 ※日程は裏面掲載

●モンゴル・日本レスリング交流会 ※一般公開、事前申し込み不要

モンゴル国の選手に加え日本国内からレスリングのトップアスリートを招聘、県内の高校レスリング部員等も参加し、合同技術講習会などを実施します。

モンゴル・・・モンゴル国レスリング連盟選抜の 6 人（コーチ等 2 人、ジュニア選手 4 人）
日本・・・永田克彦選手、浜口京子選手

【国内招聘選手等の紹介】

◎永田 克彦選手（1973 年 10 月 31 日生 45 歳、千葉県出身）



格闘スポーツジム・レスルウィン代表。日本ウェルネススポーツ大学レスリング部監督。

子どもから大人までを対象にしたレスリング指導者として活躍するほか、長年の経験で得た「不可能なことを可能に変える方法」「夢を叶えるために必要なこと」「目標に向かって前向きに頑張るポジティブマインド」を伝えるべく講演活動など精力的に行う。

2000 年シドニー五輪銀メダル、2004 年アテネ五輪出場

2000 年アジア選手権優勝

全日本選手権 7 回優勝（1997－2002 年、2015 年）

◎浜口 京子選手（1978 年 1 月 11 日生 40 歳 東京都台東区出身）

（株）ジャパンビバレッジホールディングス レスリング部所属
女子 72kg 級。オリンピック 3 回出場

現在は、テレビ番組・CMに多数出演するほか、イベントやトークショーなどにも参加。

2004 年アテネ五輪大会出場

2008 年北京五輪大会銅メダル

2012 年ロンドン五輪大会出場

世界選手権大会 5 回優勝（1997－1999 年、2002－2003 年）

全日本レスリング選手権大会歴代最多 16 回優勝。



【レスリング交流会及び関連行事日程】

日程	時間	内容	場所
2月1日 (金)	13:30~13:50	歓迎セレモニー	市役所1階ロビー
	13:50~14:10	副市長表敬訪問	秘書広報課前会議室
	16:30~18:30	都城西高校レスリング部交流	都城西高校
2月2日 (土)	10:00~10:15	レスリング交流会開会式	南九州大学 都城キャンパス
	10:15~12:00	技術講習会1	
	13:30~16:30	技術講習会2	
2月3日 (日)	18:30~21:00	歓迎レセプション	市内ホテル
	10:00~11:00	招待選手紹介&ミニトークショー	南九州大学 都城キャンパス
	11:00~12:00	技術講習会3	
	12:00~13:30	ボッチャ体験会(パラリンピック競技PR)	
	13:30~15:30	技術講習会4	
	15:30~15:40	閉会式	
15:40~16:00	写真撮影		

※モンゴル国の選手等は、平成31年1月30日(水)~2月6日(水)の期間当市に滞在。レスリング交流会以外の日程では、日本文化などを体験する予定です

補足説明

【ホストタウン】

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体のこと。

平成30年10月31日現在の全国のホストタウン登録数は、250件(340自治体)。相手国・地域数は107。県内では8自治体(宮崎県、宮崎市、都城市、延岡市、日向市・日南市・小林市・西都市)、相手国数5(イギリス、ドイツ、イタリア、モンゴル、アメリカ)。

【ボッチャ】

重度脳性まひ者や、同程度の四肢重度機能障がい者のためにヨーロッパで考案されたスポーツで、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青2色のボール6球ずつを投げたり、転がしたりして、いかに近付けるかを競います。

今回は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に賛同する企業の協力により、参加費無料の体験会を開催します。

※事前申し込み不要。どなたでも参加可



他のイベントで実施した体験会の模様
(オリンピック・パラリンピック等経済界協議会提供)

新図書館が、栄えある木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞を受賞！



プに繋げていきます。

10 月にグッドデザイン賞を受賞した新図書館 (Mallmall) が、新たに木材利用推進中央協議会主催の「木材利用優良施設コンクール」において、審査委員会特別賞を受賞しました。

当市では今回の受賞について、まちなかに誕生した居心地の良い図書館を、人々が集うたまり場として積極的に PR することで、当市の更なる魅力度アッ

平成 30 年度木材利用優良施設コンクールの表彰式

期日：11 月 28 日 (水)

場所：木材会館 (東京都江東区新木場 1-18-8)

主催：木材利用推進中央協議会

後援：農林水産省

● 評価された点 ※原文のまま掲載

街の中心に残る旧ショッピングモールを、内装に木材を活用して市立図書館として転用・再生。施設のエントランスや周辺施設間の導線となる軒下通路の天井部に木材を使用してリフォームするとともに、県産スギ材の CLT を材料とした造作家具 (展示台) や管内造作家具のデザインチームと都城家具工業会が協力し、九州産クスノキを使用して開発した様々なレイアウトが可能な「木箱型書架」等を設置。木材を活用した施設の転用・再生のモデルとして期待。

※CLT：引き板を繊維方向が直交するように積層接着した木材

【参考】

◎ 木材利用推進中央協議会

木材利用の推進及び木材需要の拡大に関する普及・啓発活動を展開することを目的として、昭和 59 年に「木材利用拡大協議会」の名称で発足し、平成 7 年に現在の名称に改称。木材利用優良施設コンクールや木材利用に関するセミナーによる普及啓発活動、木材利用促進に係る施策・制度等の各種情報発信等の活動を実施しています。

◎ コンクールの概要

木材利用推進中央協議会が、木材の利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する優良な施設を表彰する活動を平成 5 年度から実施。

【問い合わせ】 生涯学習課 電話：23-9545